



講師

深見 伸一先生

薬剤師

東京大学医学博士取得

クロザリル管理薬剤師

| | |
|---------------------|----------------------------|
| 1997年3月 | 京都薬科大学薬学部生物薬学科卒業 |
| 1999年3月 | 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科修了 |
| 2003年3月 | 東京大学医学系研究科脳神経医学専攻修了 |
| 2003年4月～ 2004年3月 | 日本学術振興会特別研究員（PD） |
| 2005年4月～ 2006年3月 | 科学技術振興機構研究員 |
| 2006年4月～ 2010年3月 | 慶應義塾大学医学部生理学教室特別研究助教 |
| 2010年4月～ 2016年3月 | 奈良県立医科大学医学部精神医学講座助教 |
| 2013年4月～ | 学校法人青丹学園関西医療福祉学院非常勤講師 |
| 2016年4月～ | 奈良県立医科大学医学部精神医学講座非常勤講師 |
| 2016年4月～ | 一般財団法人信貴山病院薬剤部 |
| 2017年9月～ | 一般財団法人信貴山病院薬剤部医薬情報・研修・研究室長 |

2019年度 血液内科学講座 リサーチセミナー

神経発生から考える 精神疾患モデル動物

日時：令和元年7月29日（月）

18：00～19：00

場所：第5講義室

◆精神科の教科書を見てみると、他科と異なり原因別ではなく症状別の構成になっている。ほとんどの精神疾患の発症原因が不明であり、発症に多因子の関与が示唆されるためである。精神疾患の病態解明、治療法の開発にはモデル動物の確立が重要となるが、精神疾患発症の神経発生学的基盤とは何だろうか？これらの点について、演者のこれまで携わってきた神経発生研究の紹介をしながら、どのようなアプローチが有効なのか議論したい。

◆一般財団法人信貴山病院薬剤部医薬情報・研修・研究室長、深見伸一先生をお迎えしてリサーチセミナーを開催します。事前予約などはご不要です。みなさんのご参加をお待ちしております。
【連絡先】血液内科学講座 Tel：024-547-2290（内線：2290）